

# N<sub>ext</sub> 2005 Vol. 6

## Saitama Support Magazine

# Stage

(財)さいたま市産業創造財団



「さいたま市ニュービジネス大賞」最優秀賞  
理化学研究所 伊藤ナノ医工学研究室  
大村 馨氏



財団 オススメ企業!!  
アンテナ技研株式会社  
代表取締役 佐藤 知也氏



「さいたま市ベンチャーフォーラム2005」特別講演  
日本新事業支援機関協議会(JANBO)代表幹事  
株式会社 堀場製作所 最高顧問  
堀場 雅夫氏

## c o n t e n t s

特集 「さいたま市ニュービジネス大賞」  
受賞者が決定しました! ... 2

Support Topics ... 4  
▶ 案産館スタートアップ企業紹介  
▶ 「分かりやすい!」「ためになった!」セミナー報告  
▶ 専門家派遣を申し込むなら今がチャンス

財団 オススメ企業!! ... 5  
▶ アンテナ技研 株式会社

コラム ... 6  
「商法から『新会社法』へ」  
～「企業」及び「起業」スタイルの選択肢広がる

インフォメーション ... 8

特

集

# 「さいたま市ニュービジネス大賞」受賞

去る9月27日(火)に行われた「さいたま市ベンチャーフォーラム2005」の場で、「さいたま市ニュービジネス大賞」の最終審査が行われました。

今回、市内外から55件の応募をいただき、第1次審査、第2次審査を実施して5名の創業者・事業者が最終審査に進みました。

当日は一般来場者、支援機関担当者などで埋まった会場で、皆さん堂々とビジネスプランを発表しました。

そして、厳正なる審査の結果、最優秀賞以下各賞が決定しました。

今後は、受賞者を中心に「コラボさいたま2005」などでのPRの場の提供や事業化に向けた各種支援メニューを実施していく予定です。

皆様からのたくさんのご応募ありがとうございました。

そして受賞された皆様、おめでとうございます!!



プレゼンテーション風景



表彰式

## 受賞者紹介

### ●最優秀賞:1名 (賞状・盾・副賞50万円)

オオムラ カオル  
大村 馨 氏

(理化学研究所 伊藤ナノ医工学研究室)  
「なんでも固定化バイオチップの実用化」



#### 概要

あらゆる有機分子を固定化する事が可能な、新しい光固定化技術を開発し、この技術をベースに、オーダーメイド医療を可能にする病気診断用タンパク質チップの実用化を図ります。

この技術は上記以外の特徴として、タンパク質の非特異的吸着を抑制し、高S/N比の測定が可能であること、またランダム固定である為、タンパク質のあらゆる認識部位の活性が維持でき、従来不可能であった診断を可能にするものです。

本テーマは、JST大学発ベンチャー創出推進事業として、理研で実施しているものであり、理研ベンチャーとしての認定を受け、今後も共同研究を通して、コンテンツ開発も行い、各種診断用チップをラインナップしていきます。

#### 一言アピール

設計図であるゲノムだけでは病気診断は出来ません。機能分子であるタンパク質を見ていく必要があり、その業界標準を目指します。

### ●特別賞:1名 (賞状・盾・副賞20万円)

シマ スキ タケ シ  
島貫 武志 氏  
(株式会社 メディカルサプライ 代表取締役)  
「強力な止血パッドの生産・販売」



#### 概要

今、大規模災害とか無差別テロなどまた、大規模な交通事故(鉄道、バス)昨今物騒なことが日常茶飯事のごとく囁かれております。然るにいったん事が起こってからそれらに対応する止血用の緊急医療が開発されていません。

現在普及しているものと言えば、三角巾・ガーゼ・包帯、そして消毒液の類です。これらを使用して適切に止血及び緊急治療に当たれるのは専門家以外には困難です。こと人命にかかわることですから一刻も早く適切な処置を近くにいる人々が行わなくてはなりません。

特に緊急医療の第一番は止血をすることでそれを行って医者の治療を受けるべきだと思います。そのためにいつでもどこでも誰にでも簡単に使えて効果がある止血用具の開発が求められています。

当製品はそれらを考慮し、簡単に扱えて高機能な止血パッドを生産、販売することを目的としております。

#### 一言アピール

当製品は東京電機大学の舟久保助教授との共同開発です。このような製品はどのメーカーからも出回ってはおりません。全く新しい製品であり新たな市場が見込まれます。



# 者が決定しました!!

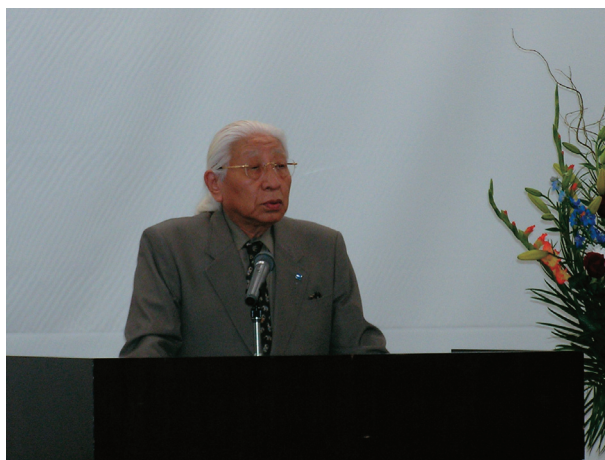
## 「さいたま市ベンチャーフォーラム2005」

### ～堀場雅夫氏のベンチャー指南～

9月27日(火)開催の「さいたま市ベンチャーフォーラム2005」で、日本新事業支援機関協議会(JANBO)代表幹事で株式会社堀場製作所最高顧問の堀場雅夫氏による「21世紀の活力」と題した特別講演が行われました。

日本におけるベンチャー企業の現状や成功するベンチャー企業の共通点など、学生ベンチャーの先駆けであり、現在京都を拠点に次代のベンチャー企業育成に尽力されている堀場氏ならではの話を時折ユーモアを交えてご講演いただきました。

→次号、堀場雅夫氏の講演録を掲載予定ですのでご期待ください。



日本新事業支援機関協議会(JANBO)代表幹事  
株式会社堀場製作所最高顧問  
堀場 雅夫氏



講演風景

### ●優秀賞:3名 (賞状・盾・副賞10万円)

金子 譲氏

(カレイド企画有限会社 代表取締役)

「シリコン屋さんの環境リサイクル・ビジネス」



**概要** 本事業の特徴は次の5つです。

- ①シリコンメーカーの「産業廃棄物」(金属ケイ素粉)をリサイクル。価値ある製品を「安価」に提供。
  - ②未来のエネルギー【高純度水素ガス】をつくる。
  - ③有害ガスを出さない、環境に優しい「耐火・難燃剤」を製品化。
  - ④熱に強く、環境に優しい「石棉代替品」を製品化。
  - ⑤日本の技術で、先進各国に進出し、グローバルマーケットを創出。
- 「国内排出の金属ケイ素粉、年間2,000トン」から、「水素:320万m<sup>3</sup>、2.5億円」「ケイ酸ナトリウム:8,500トン、8.2億円」の生産が可能です。

#### 一言アピール

- 環境とエネルギーの新しい開拓者。
- 廃棄金属ケイ素粉を、水素ガスと環境に優しい耐火・難燃製品にリサイクル。

庄田 正貴氏

(TRENDIX株式会社 代表取締役社長兼CEO)

「WebサイトM&A事業」



**概要** インターネットは、ビジネスに必要不可欠なモノになりました。そのような環境の中で、Webサイトでのビジネスを展開するベンチャー企業の中には、数千万～数億円の売上をあげている企業も多数存在しています。しかし、ゼロからサイトを立ち上げ事業を拡大、強化するには、多くの投資や時間が必要となり大きなリスクもあります。

そこで、WebサイトをM&Aすることにより、既に確立されたブランド・顧客・コンテンツを獲得でき、事業の拡大や強化を短期間で容易に実現することができます。TRENDIX株式会社は、国内で唯一のWebサイトM&A仲介サービス提供企業として、お客様の事業戦略やマーケティング戦略に適合した、WebサイトM&Aのプロデュースから買収後のサイト運営支援まで、総合的なサービスを提供しています。

**一言アピール** WebサイトM&A仲介サービスは、お客様をインターネットビジネスの勝ち組に導くための強力なソリューションです。

鈴木 貴之氏

(MSアローズ有限会社 取締役)

「もう海外では常識☆愛犬用シートベルトPowerDog登場!!」



**概要** ペットブームが沸き起こる中、愛犬とのドライブ機会も多くなりました。しかし、いまだに犬にシートベルトという概念がないので、運転手は本来なら運転に集中しなくてはならない、ブレーキやカーブのたびに、転がりそうな犬に気をとられているのです。そして、いきなり暴れた犬に運転を妨げられ…。

ペット需要の高いアメリカなどでは、すでに犬用シートベルトは常識な商品で、多くの州では法制化されているほど。ペット需要が急上昇中の日本でも、必ずや需要があると考え、そして、叔父の開発した着衣型チャイルドシート技術を応用し、安全で犬にも優しい本格的な犬用シートベルトを完成させることができました。

**一言アピール** 犬用シートベルトは、海外では常識!(法制化されているほど)運転の妨げを防止するためにも、日本でもぜひ広めたい商品です。

## 「案産館」スタートアップ 企業紹介

インキュベータ「案産館」がスタートしてこの10月で1年が経過しました。会社を設立してビジネスをスタートした企業が続々と登場しております。今回はその中から2社のフレッシュ社長に自社PRをしていただきました。

### 株式会社フォーユー商会

代表取締役 鈴木 孝次 氏

株式会社フォーユー商会は、今年4月1日に、炭素繊維を使用し水質浄化や人工藻場（漁場）を作り「自然の再生」を手助けする目的で創業した会社です。

（財）さいたま市産業創造財団のインキュベータ「案産館」に、1月から入居させて貰い、第2回「起業家育成セミナー」を受講・卒業して、4月1日に設立した、まだホヤホヤの会社です。

今、会社は横浜市漁業協同組合金沢支所さんと「海域の水質浄化と豊富な水産資源の確保と育成」をテーマに共同実験を始めました。

また、川越市の「伊佐沼の浄化」も、同市をはじめ多くの方々の熱意で始まろうとしております。このように徐々にですが動き始めました。

疲弊している自然をもう一度再生して子孫に残すことが出来れば会社の本望だと思います。私たち社員の努力は勿論ですが、皆様の絶大なるご支援も御願ひ致します。



### 有限会社 靴の荒井商事

代表取締役 荒井 亀良 氏

私が靴屋の亀さんです。坊主頭にひげおじさん、お国訛りでこんにちは。

このスタイルが我社の広告塔です。17年7月7日七夕の日夢が叶い念願の（有）靴の荒井商事の設立、案産館に入り

“案ずるより産むが安し”

その言葉がピッタリ優秀な多くのスタッフに恵まれ環境指導抜群、ないないすくしの創業者にとっては力強い味方。そこで一句

案産館 夢を育む 助け船



## 「分かりやすい!」「ためになった!」 ～ご好評いただいたセミナーの報告～

7月13日（水） 大宮ソニックシティ

中小企業の公的支援きっちり活用術

～中小企業新事業活動促進法セミナー～

講師 山根 義信氏（（有）ウェルネット取締役社長）

経営コンサルタントとして活躍する山根氏を講師に迎え、4月13日に施行された「中小企業新事業活動促進法（新法）」についてのセミナーを実施しました。公的支援の活用は経営向上に直結するにも関わらず、わかりにくい等の理由で活用できていない企業が多いと指摘。新法の認定を受けるとどんなメリットがあるのか、申請手続きのポイントは何かを豊富な実務経験に基づきズバリ解説しました。



山根 義信氏



セミナー風景

<第2弾開催します>

◎「中小企業新事業活動促進法セミナー」

～経営革新計画立案のポイント～

10月18日（火） 大宮ソニックシティ

新法の認定をステップにして、経営革新に真剣に取り組もうと考えている企業の方は是非ご参加ください。

→詳細はホームページ <http://www.sozo-saitama.or.jp> より

7月20日（水） 大宮ソニックシティ

講演会&ビジネス交流会

講師 犬飼 基昭氏（浦和レッズ代表）

「地域に密着した企業経営～地域の発展に企業が果たす役割～」



「レッズランドは地域の幅広い世代が触れ合える場所」と犬飼社長



交流会では盛んに参加者の交流が行われました

スポーツビジネスを展開する上でのキーワードは「感動」であり、それには浦和レッズのチーム力強化が不可欠あると力説。選手育成の手法について、日本では、不得意なところを矯正するのは長けているが、得意なところを伸ばすのは非常に苦手であると指摘し、右でも左でも蹴れる中途半端な選手（人材）を育てるのではなく、左足のスペシャリストを育てなくてはならないと話されました。

## 専門家派遣を申し込むなら今がチャンス

ご好評につき専門家派遣の本年度枠が残り少なくなってきました。この機会に是非ご活用下さい。

専門家派遣制度とは～実際に企業様の現場へ専門家がお伺いして、経営戦略、人事、IT、現場改善、営業力強化等の個別のテーマを支援していく制度です。

1回（3時間程度）7,000円でご利用いただけます。

派遣する専門家は、財団に登録する専門家の中からお選びいただけます。また、派遣の回数や進め方もご相談に応じますので安心です。

まずは下記までお電話下さい。

お問合せ・申込み TEL 851-6652

さいたま市産業創造財団支援課 中小企業支援担当





## 財団オススメ企業!!

### アンテナ技研株式会社

今回は、昨年7月に社長に就任し、就任一年目から増収増益を実現した佐藤知也社長が率いるアンテナ技研株式会社様を取材。我々が日常何気なく利用している通信技術のインフラにも、アンテナ技研株式会社様の技術が随所に織り込まれているのがわかりました。財団の専門家派遣制度もご利用いただいております。

#### まずは御社のヒストリーをお聞かせ下さい

発明から80年近く経っても高性能かつシンプルな構造で無線通信に活躍する八木・宇田アンテナを始め多くの成果を生みだしている、日本のアンテナ研究の中心＝東北大学で学んだ前社長・佐藤源貞が、「企業活動を通して学問の発展に貢献する」を理念として設立しました。

以来、行政防災無線、テレビやラジオの放送、鉄道会社や電力会社あるいは空港(飛行場)用等の業務用(法人向)無線のアンテナ、及びフィルタを中心とした伝送機器において技術を磨き、1990年代の移動通信(自動車電話・携帯電話・PHS)の基地局関係の受注で大きく躍進してきました。



アンテナ技研株式会社  
佐藤社長

#### 業務の特徴を教えてください

業務用無線は特殊用途である為に性能面・使用環境面等での各種要求が厳しく、また多品種少量生産となっているが、アンテナ技研は製造における加工やメッキ・塗装処理のほとんど、また組立の多くを外部に委託し、社内では専門技術・経験を要する開発・設計・測定・調整業務に注力しています。

近年は宇宙(衛星通信関係)用や防衛用の仕事も増え、高性能・高信頼性の無線通信や放送といった公共的インフラ構築を通じて、安全(安心)で、便利で、楽しい社会の実現にお役に立てるよう頑張っております。



お客様は三菱電機様、東芝様、日本無線様、日立国際電気様等の大手通信機メーカーが大半を占め、宇宙航空研究開発機構(JAXA)様、防衛庁様、情報通信研究機構様といった官公庁や研究機関にも直接納入しています。

#### 社長就任一年目から会社も増収増益となりましたが、そのポイントは何か?

今までできていなかった、予算管理すなわち予算を立てて、それと実績の差を把握してすばやくアクションに移す。数年分のデータを分析して、傾向を把握し、事業に計画性を持たせる。そして、社内にある、あらゆる無駄をなくする。まずはこれらに取り組みました。

コストを一つ一つ見てみると、まだまだ余計にお金をかけていて削れる部分がありました。それを一つ一つ見直していったのです。

過去には通信業界全体が落ち込む中で、当社にとっても非常に厳しい時期もありましたが、現在はおかげさまで中長期的な視点から、攻めの経営革新に取り組める状況にあると思います。

#### 今後の事業展開をお聞かせ下さい

無線通信業界は、テレビ・ラジオ放送及び防災・消防無線のデジタル化や、携帯電話の第3世代からの進化、無線LANやITS(ETCを始めとする高度道路交通システム)、更にはRFID(無線による識別)の拡大など、将来がますます有望な市場ではありますが、一方で技術革新が極めて早く、コスト競争も激しさを増しています。

そこで、今後は次のことを主要課題として競争力の強化を図っていく予定です。

- ・技術の伝承・共有による、40年間蓄積した技術やノウハウのお客様へのスピーディかつ確実な提供
- ・産学連携等による最新技術の早期開発・修得
- ・取引先と協力した一層の低コスト化・納期の短縮

です。

これまで、応急処置として、今までなかなかできていなかった予算管理の導入と社内の無駄なコストの排除を行いました。今年度からはいよいよ中長期的な課題に本格的に取り組んでいきます。

単に、「社内のコミュニケーションを良くする」といってもお題目で終わってしまうので、「よりスピーディにお客様に対応するにはどうしたらいいか?」「まずはお客様に満足していただくにはどうするか」という観点から社内の意識改革を進めていけたらと考えております。

また、創業当時から会社を盛り上げてきて支えてくれた社員の方々の技術を今後、新しく入ってきてくれた社員にどのように伝えていけるか、すなわち「技術の伝承」も大きな課題です。社員が50人を越えると個々人の属人的なやり方では非効率なことが多くなります。組織だった体制をととのえていかなければならないと考えています。



(地上デジタル放送用の  
広帯域リングアンテナ)

#### 財団を利用してみたいかがでしたでしょうか?

中小企業でも、抱えている課題・問題の種類は基本的に大企業と同じだけあります。しかし、規模の面から、自社で専門家を採用・育成するのは無理があります。その点、必要な時に必要なだけ、適切な専門家の支援が受けられる財団は、便利でありがたい存在です。

#### インタビューを終えて

終始、温厚で物静かな語り口でお話していましたが、短期的な対症療法ではなく中長期を見据えて一歩一歩社内の革新を進める佐藤社長の姿に、内に秘めた経営革新への意気込みがひしひしと感じられました。



## 商法から「新会社法」へ ～「企業」及び「起業」スタイルの選択肢広がる～

田幡FP・行政書士事務所 所長  
特定非営利活動法人さいたまSOHO起業家協議会 理事  
埼玉県創業・ベンチャー支援センター 専門アドバイザー

田幡 悦子(たばた えつこ)

### (1)新会社法の中身は？

「会社法」が3年越しの審議期間を経て本年6月29日に可決成立した。

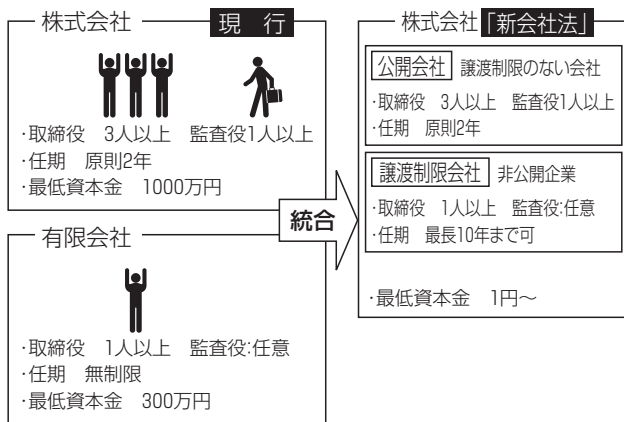
主な改正点は

- ①従来の有限会社が廃止され株式会社に一本化される。
- ②最低資本金規制が撤廃され、2003年からの特例で実施されてきた1円起業が恒久化される。
- ③新たに「会計参与制度」の創設により会社の機関設計が柔軟化される(39通りの設計が可能)

等その他役員数や任期においても、極論すれば従来の有限会社制度をベースにした内容となっている。

譲渡制限株式会社(株式の譲渡について会社の承認が必要である旨の定款の定めがある会社)については、最低限の機関設計のみを定め、企業の成長段階に合わせた柔軟な機関設計の選択を許容。具体的には、取締役会(取締役3人以上で構成)の設置規制を外し、取締役1名でもよいこととする。そして 取締役・監査役の任期は、定款で定めれば最大10年までの任期とすることができる。

また、設立に関する規制も大きく見直されている。そこで、中小企業の経営者、これから起業しようとする方々にとって最も関心のあるテーマに分けて解説する。



### 有限会社が消える?! 「1円会社」はどうなる？

企業全体の6割を占める有限会社は、設置基準が取締役1人から可能、取締役の任期制限がない、決算公告の義務がないといったメリットがあり非常に使い勝手のよいスタイルである。これが施行後は消滅してしまう。それでは、これまでの有限会社は新法に合わせて株式会社にしなければいけないのかというと、そうでもない。選択肢は2つ①そのまま存続②有限会社を解散して株式会社に移行、どちらかを選択する必要がある。

#### ①有限会社をそのまま存続の場合

新法条文の「有限会社法の廃止に伴う経過措置」に旧有限会社の存続という項目があり、法律上は株式会社扱いであるが、会社名としては「有限会社」を名乗ることができる。但し経過措置ではこれを「特例有限会社」と呼ぶとしている。旧有限会社の定款は会社法施行により不要となった一部の事項を除きそ

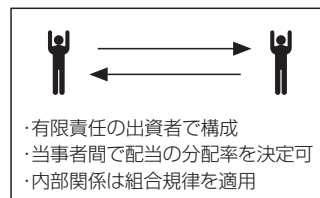
のまま新たに存続する株式会社(特例有限会社)の定款として認められ、定款変更や株式会社としての登記は必要ない。また経過措置では期限が定められていないため、今後法改正がない限り半永久的に特例有限会社として存続可能となる。

#### ②有限会社を解散して株式会社に移行の場合

定款や登記事項の変更に手間と費用がかかるが、対外的なイメージ・信用力が上がる、譲渡制限をはずせば将来株式公開を目指す、会社の役員として会計参与の設置が可能といったメリットも考えられる。いずれにせよ会社の業績等も勘案しながら積極姿勢を内外にアピールするチャンスととらえるか、新法というのは初めのうちは色々整備上の問題が出てくるだろうから当面は他社の反応を見ながら存続の立場で静観するか、あくまでも経営者の判断に委ねられている。

また経済産業省の特例を利用して起業したいいわゆる確認会社「1円起業」の経営者については、5年以内に1000万円、300万円までの増資義務(もしくは合名会社等への組織変更義務)があるが、この施行後「自動的に」増資義務がなくなるかというそうではない。理由は定款に「解散事由」が記載されているため。そこでこれを削除することにより卒業できる。具体的には定款変更(削除)の登記が必要となる。その後の確認有限会社については前述の有限会社の選択と同様である。

### 新設のLLC・LLPの使い勝手は？



欧米でLLC(Limited Liability Company)と呼ばれる「合同会社」という新しい会社類型が創設される。また【有限責任事業組合 LLP(Limited Liability Partnership)】についてはこの8月1日から施行された。両者とも、業務執行、利益分配等の組織の内部ルールをパートナー(出資者・経営者)間で自由に設定できる特徴がある。対外的には出資額の範囲でしか責任を負わない有限責任制のため、LLCは新設できなくなる有限会社に代わる機関として、LLPはパススルー税制(会社の利益には税金がかからず、その利益配分を受けた出資者に直接課税される仕組み)のため専門家による起業や産学連携、大企業とベンチャー企業との連携等に活用が期待される。既に活用されているLLPについては設立も比較的簡単で、構成員・出資比率・利益配分などの概要を決め、これらを記載した組合契約書を作成し、出資金の払込、組合契約登記申請で完了する。実費も登録免許税6万円のみで完了までの期間も1週間程度となっている。

一方問題点として①組合で故意に赤字・負債をつくり、課税逃れに悪用する②出資だけの組合員は認められず、事業への関与が不明確③会社法人への組織変更不可との欠点もある。





## 専門家による個別相談会

- 10/27(木) 企業OBによる営業相談  
 11/9(水) 税理士による税務相談  
 11/22(火) 商品開発相談  
 11/25(金) 海外取引相談  
 12/8(木) 税理士による税務相談  
 12/14(水) 営業相談  
 11/8(火)、12/6(火)

埼玉県信用保証協会による金融相談

●時 間:いずれも10:00~17:00

●会 場:(財)さいたま市産業創造財団 相談室  
 ※金融相談以外は相談実施4日前(土・日、祝日を除く)までに  
 お申し込みください。申し込みがない場合は中止となります。

●対象:市内中小企業の方及び市内で創業予定の方

### お問合せ・申し込みは

さいたま市産業創造財団 支援課 小平  
 TEL:048-851-6652 FAX:048-851-6653  
 E-mail:s-koda@sozo-saitama.or.jp  
 または、ホームページ(<http://sozo-saitama.or.jp>)  
 から申し込みができます。

## 新事業創出セミナー

～産学連携プロジェクト～

- 日 時:10月25日(火)、11月17日(木)、11月29日(火)  
 14:00~18:00  
 ●講 演:「産学連携とイノベーション」「MOTと新事業創出」「研究開発マネジメント」等  
 ●講 師:山形大学 大学院理工学研究科  
 教授 野長瀬 裕二氏 他  
 ●会 場:さいたま市産業文化センター 302会議室  
 ●定 員:定員は30名(先着順)(市内で新規事業を検討されている創業者及び中小企業者に  
 限ります)  
 ●参加費:2,000円(ただし交流会費別途500円)

### お問合せ・申し込みは

さいたま市産業創造財団 支援課 佐藤  
 TEL:048-851-6652 FAX:048-851-6653  
 E-mail:s-sato@sozo-saitama.or.jp  
 または、ホームページ(<http://sozo-saitama.or.jp>)  
 から申し込みができます。

## さいたま市産業創造財団 環境ワークショップが出演します ～産業交流展2005のご案内

- 日 時:10月25日(火)、26日(水) 10:00~17:00(最終日は16:00まで)  
 ●会 場:東京ビッグサイト(東京国際展示場)西1・2ホール 環境ゾーン 小間N01  
 ●入場料:無料  
 ●参加企業:  
 株式会社イシミックー 省エネマネジメントシステムでエコ&コストダウン  
 有限会社STSシステム——— パルス発生器、オソナイザー、携帯トイレ  
 環境システム事業協同組合——— 家中全ての水を活性化する活水器「新ん泉」  
 日本水質保障株式会社——— 水道の錆び出します「ラスピット」  
 福井工業株式会社——— 削減型の家庭用生ゴミ処理機(バイオ方式)『食べ大将』

### 招待券ご希望の方は

さいたま市産業創造財団 支援課 佐々木  
 TEL:048-851-6652 FAX:048-851-6653  
 E-mail:t-sasa@sozo-saitama.or.jp  
 または、<http://www.sangyo-koryu2005.jp/touroku.html>  
 から申し込みが出来ます。

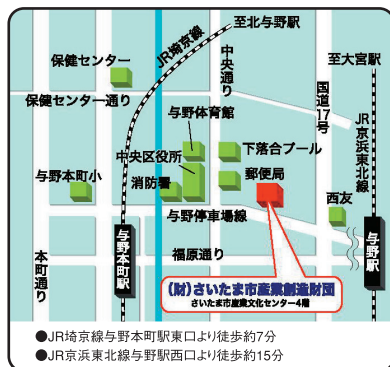
## さいたま市ベンチャー塾 Stage③

- 日 時:11月19日(土)、11月26日(土)の2日間。  
 いずれも10:00~16:30  
 ●講 演:「新事業のマーケティング」  
 中小企業基盤整備機構 登録アドバイザー  
 稲田裕司 氏  
 ●会 場:さいたま市産業文化センター 301会議室  
 ●定 員:定員は30名(先着順)(市内で新規事業を検討されている創業者及び中小企業者に限ります)  
 ●参加費:2,000円(ただし交流会費別途500円)

### お問合せ・申し込みは

さいたま市産業創造財団 支援課 大塚  
 TEL:048-851-6652 FAX:048-851-6653  
 E-mail:h-otsu@sozo-saitama.or.jp  
 または、ホームページ(<http://sozo-saitama.or.jp>)  
 から申し込みができます。

## Next Stage 第6号



2005年(平成17年)10月11日発行

編集・発行●財団法人さいたま市産業創造財団

U R L●<http://www.sozo-saitama.or.jp>

さいたま市産業文化センター4階(〒338-0002) さいたま市中央区下落合5-4-3)

●支援課①中小企業支援担当 TEL 048-851-6652 ②創業者支援担当 TEL 048-851-6697  
 ③総務担当 TEL 048-851-6696  
 FAX 048-851-6653 (①、②、③共通) E-mail shien@sozo-saitama.or.jp

●金融課 TEL 048-851-6391 FAX 048-851-6392 E-mail kinyu@sozo-saitama.or.jp  
 ●勤労者福祉サービスセンター TEL 048-840-1133 FAX 048-859-1711

R100  
 古紙配合率100%

PRINTED WITH  
 SOY INK™